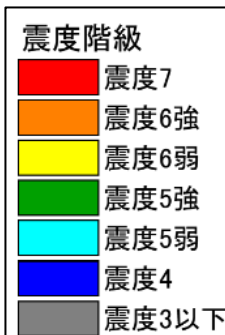


### 1. ハザード評価

#### (1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<震度別面積割合>

(参考) 総面積 = 40.9km<sup>2</sup>

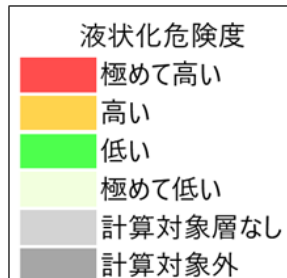
震度階級	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
7	24.3	59%	0.0	0%
6強	13.9	34%	9.4	23%
6弱	2.8	7%	28.4	69%
5強	0.0	0%	3.1	8%
5弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

#### (2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<液状化危険度別面積割合>

(参考) 総面積 = 40.9km<sup>2</sup>

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
極めて高い	0.5	1%	0.0	1%未満
高い	2.9	7%	2.9	7%
低い	0.1	1%未満	0.4	1%
極めて低い	5.1	13%	5.2	13%
計算対象層なし 計算対象外	32.4	79%	32.4	79%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

### 2. リスク評価

#### (1) 人的被害

※季節・時間帯：冬・深夜

#### (2) 建物被害

※季節・時間帯：冬・夕方

#### (3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約200	約20
うち建物倒壊等	約100	約20
うち津波	-	-
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	約10	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約300	約30
軽傷者数（人）	約500	約200
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約600	約60
津波被害による 要救助者数（人）	-	-
津波被害による 要搜索者数（人）	-	-

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約3,000	約300
うち揺れ	約2,700	約300
うち液状化	-	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地	-	-
うち火災	約300	-
半壊棟数（棟）	約1,400	約1,000
うち揺れ	約1,400	約1,000
うち液状化	-	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地	-	-
ブロック塀等の 転倒数（件）	約400	約100
自動販売機の 転倒数（件）	約10	約10
屋外落下物の 発生数（件）	約900	約20

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	約10	-
残火災件数（件）	約10	-
津波火災発生件数（件）	-	-

#### 概観（理論上最大クラス） 【ハザード評価】

町の約5割が震度7となります。また、町との境界を中心に、液状化が発生する可能性があります。

#### 【リスク評価】

町全体の約3割の建物が全壊することで、古い家屋を中心に建物の倒壊等による死傷者や自力脱出困難者が発生します。

※「-」：わずか（5未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。